



陽だまり

大分市議会議員 松下清高 活動報告
第50号 2021年7月15日発行

連絡先

大分市議会社会民主クラブ
大分市荷揚町2番31号
TEL 097-537-9220

高崎事務所

〒870-0872 大分市高崎2丁目24番8号
TEL 097-545-3438

まつきよコラム

早いもので、改選後2回目の定例会議終了しました。執行部から提出された予算議案や各議員の一般質問の多くは、やはり新型コロナに関するものが多く、1年以上に渡る感染拡大に対する市民の不安感の強さが反映し、執行部も議員もその解消のための対策、施策の必要性を共通認識としながら、一刻も早い収束を願っていることを改めて強く感じました。

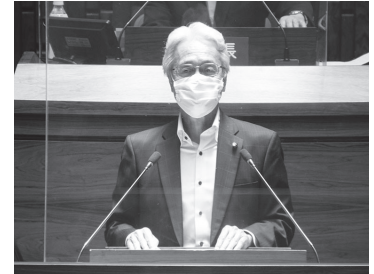
この間、75歳以上の高齢者から5月連休後にワクチン接種が始まり、順次65歳以上74歳未満の方、7月1日からは64歳未満の方への接種券の発送も始まっています。75歳以上の方への接種券配布後、接種の予約が取れない、コールセンターに通じない、また、Webでの予約の仕方がわからない、などの苦情等の声が多く寄せられ、私を含む多くの議員にも苦情、相談をいただきました。

コールセンタの電話回線や集団接種会場での接種件数の増加などにより、現在では落ち着いて順調に接種が進んでいるようです。スマホやPCなどの操作に慣れない方への対応や市のHPを含む広報のあり方など、分かりやすい説明や支援などに努め、市民の皆さんの不安解消について、機会を捉えて執行部には要請し、改善等を求めてきました。

直近の大分県、大分市の陽性者数は大幅に減少して、7月1日時点ではステージ1の段階となっています。しかし、オリンピック等の開催や夏休み、お盆などによる人流の増加により、変異型の感染拡大も懸念されているため、ワクチン接種が集団免疫の効果を挙げるまで、また、その後も感染防止に気を付けた生活、行動を続けていくことが必要だと思います。

同時に、経済をいかに回復していくか、飲食業や宿泊業だけでなく、ブライダルやイベント関係、それぞれの周辺、関連産業にも大きな影響が出ており、しかも、国や自治体の支援対象とっていないなど、大変厳しい状況となっています。そうした方たちの声、意見をお聞きしながら、また、弱い立場でなかなか声を上げられない方たちの想いをくみ取りながら、支援策、対策を講じていくよう努めなければと思っています。

国や県、大分市政には、様々な大きな課題が山積していますので、緊急性、必要性などに目配りしながら、政策順位を間違えないよう、しっかり提案、提言していきたいと思っています。



▲質問壇上から

第2回定例市議会の報告

今議会では、新型コロナウイルス対策及び大分市立認定こども園条例の一部改正などの一般議案が上程されました。主な議案の審議結果等については、別掲の「絆」をご覧ください。今議会では質問を行いましたので、その質問項目概要のみ記載して報告します。併せて、委員会等の活動報告を行います。

【一般質問】

多文化共生について

少子・高齢化の進展と生産年齢人口の減少など

を背景に、外国人労働者の活用による働き手の確保及びインバウンドによる観光客、留学生の増加などで外国をルーツとする市民が増加しており、雇用や労働などの問題や生活上のトラブルなどの増加が想定されるところです。

本年3月に策定された「第4次大分市国際化推進計画」の中で、「国際交流・国際協力」と「多文化共生」を推進テーマに掲げており、特に多文化共生の施策等の実効性や取り組みなどについて、以下の項目を質問しました。

(1)外国人等からの相談状況について、(2)相談対応について、(3)庁内連絡体制について、(4)関係機関等との連絡体制について、(5)当事者団体等

の情報交換等について

再質問：相談窓口や体制の整備、関係機関等との連絡、連携体制の構築について

地域共生社会について

今年の 4 月から、「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が施行されました。これは、介護や障がい、子ども、生活困窮など、生活課題を抱える対象者を分野を超えて地域でつながり続ける支援体制を構築することを目的としており、改めてその目的や支援体制の整備の構築及び「8050」問題など社会問題化している引きこもり対策等について以下の項目を質問しました。

(1) 改正社会福祉法等について、(2) 引きこもり支援、対策について

【厚生常任委員会】

本常任委員会では、付託された予算議案 1 件、一般議案 10 件などについての審査を行いました。

予算議案は、大分駅北口に設置されている新型コロナウイルスの抗原検査センターを 9 月まで延長することやワクチン接種に関する経費の追加及び新型コロナウイルスにより生活が困窮する世帯への支援金の給付などです。

提案された内容としては、緊急かつ必要な予算案と言えますが、私からは補強、確認の意味から①抗原検査センター継続の目的や対象者、②現行の集団接種会場の場所による接種率の地域間格差が生じていないか、③今後のワクチン供給量の見直しなどについて質問しました。執行部からは、①県外の往来による陽性者の水際での把握の必要性があること、②今後の状況によっては新たな設置を検討すること、③高齢者等については確保できていること、職域接種については、国、県との情報交換を密にすること、などの答弁がありました。

このうち供給量に関して、職域接種の希望が政府の予想以上に多く、そのため政府からワクチンの供給が上限に迫っているため受付を中止する、との発表がありました。このため、大分市対応分と県対応や職域接種対応間で、接種漏れや重複などが生じないように、との私の指摘が杞憂に終わることを願うもので、今後も注視していきます。

また、子どもすこやか部からは、市立認定こども園条例の一部改正案等が提出されました。これは、佐賀関地区の幼稚園と保育所を市立認定こども園として開設するためのもので、幼児教育と保育を一体的に提供するためのものです。

この市立認定こども園に関し、一足早く今年の

4 月にスタートした「のつはるこども園」を委員会最終日に視察し、0 歳児から 5 歳児まで 75 名の子どもたちが利用している状況を確認することができました。新型コロナウイルスの影響で地域の子育て支援や地域住民との触れ合いなどは制約がある、とのことでしたが、コロナ収束後の活動が期待できるものと感じました。

その他の一般議案や報告事項等については、確認のため質問などしましたが、原案を承認することとしました。

【総合交通対策特別委員会】

本特別委員会では、1. 自動運転のあり方検討会議の取りまとめについて、2. 大分・滝尾駅間の新駅設置に関するアンケート調査についてなどの報告がありました。自動運転については、高齢者等の移動困難者や過疎地域における移動手段の確保など、地域公共交通が抱える問題の解決に資するのでは、と期待する部分もありますが、時速 15Km 以下という走行速度や運行ルートの問題など課題も多く、今後も注視する必要があると思っています。

また、新駅設置に関しては、議会として請願を採択し、その必要性は認識していますが、今回のアンケートの手法や市や地元負担など、費用面の情報も市民全体に提供してもらうことを質問、要望しました。

【SNSでの情報発信】

私の議会活動等の情報発信は、本陽だまりや facebook、HP などで行っていますが、5 月から youtube でも発信していますので、是非ご覧ください。

【政策研究会の活動】

大分市議会では、改選期などに議員から政策課題を募集し、選考した政策課題について、推進チームを結成して、議員提案条例策定の活動を行うこととしています。今回、私も提案した市政等への若者施策の反映や政治意識の醸成を図る「若者参画条例」の策定に向け、推進チームの副座長に選任されましたので、条例策定と実効性確保のため取り組んでいきたいと思っております。

《市民相談》をお受けします

行政に関することなど何でも結構です。

ご相談は「松下清高」まで

連絡先：電話 545-3438

Email:kiyo-hidamari@amail.plala.or.jp

市議会通信 54号

2021年 6 月議会報告

絆

きずな

発行元・大分市議会社会民主クラブ
住 所・大分市荷揚町 2 番 3 1 号

6 月議会

6 月 1 4 日～2 8 日まで、議会が開催されました。

今回は、新型コロナウイルス感染症関連の補正予算が主な議案でした。一般議案では鉄道残存敷の整備や学校給食費の公会計化に関する条例などがありました。

詳細は、以下の通りです。



6 月議会

補正予算

補正予算総額 9 億 1 0 0 0 万円で、その財源は国庫支出金が 6 億 1 0 0 0 万円、県支出金が 1 億円、市の財政調整基金からの繰り入れが 2 億円となっています。

◎新型コロナウイルス検査体制強化事業・・・1 億 8 0 0 0 万円

J R 大分駅前市が設置した抗原検査センターの設置期限は、当初 6 月末までであったのですが、今回の議会で 9 月末までに延長とします。

◎新型コロナウイルスワクチン接種事業・・・3 億円

時間外や休日の接種への加算、集団接種会場への医療従事者派遣、接種医療機関への協力金などにかかる予算です。

◎新型コロナウイルス業務体制確保事業・・・6 0 0 0 万円

積極的疫学調査（濃厚接触者などの調査）や陽性患者の搬送などの業務を委託します。

◎新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金事業・・・3 億 7 0 0 0 万円

特例貸付制度を利用できない世帯であって、収入など一定の要件を満たす生活困窮世帯に対する支援金です。

（7 月～8 月末の受付で 3 カ月支給。月額で 1 人世帯 6 万円、2 人世帯 8 万円、3 人以上世帯 10 万円）

（問い合わせは TEL 0 1 2 0 - 4 6 - 1 9 9 9）（平日のみ 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0）

専決処分した補正予算（令 2 年度（昨年度）の補正予算）

昨年度の予算について、今年の 3 月 3 1 日付けで、それぞれの事業費が確定したことから、専決処分した補正予算について報告がありました。

☆補正額は、総額で 1 3 4 億 3 4 0 0 万円の減額です。

これは、児童福祉や生活保護の扶助費や建設事業費の減額が主なものです。

また、基金繰入金も 3 0 億円の減額し戻し入れします。

※専決処分・・・議決すべき事項を時間の関係等で議決を経ないで、市長が処理すること。

一般議案

◎六坊グリーンウォーク広場条例の制定

駅の高架化で残った鉄道残存敷の有効活用を進めていますが、今回はJR久大本線の鉄道残存敷をグリーンウォーク広場として整備し、その利用のための条例を制定します。



グリーンウォーク広場

◎大分市学校給食費の管理に関する条例の制定

これまで学校ごとに会計処理していた学校給食費を、教職員の負担軽減と保護者の利便性向上のため、市がその業務を担うようにする「公会計化」のために、条例を制定します。

◎市職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正

豪雨等で災害が発生し、もしくは発生のおそれがある状況下で、応急作業や巡回監視などに従事した職員に支給される手当を定めます。

◎大分市立認定こども園条例の一部改正

今年度は「のつはる認定こども園」を設置しました。

来年度、「さかのせき認定こども園」を設置するために条例改正をします。



のつはる認定こども園

◎障害者福祉サービス事業や支援施設などの人員、設備、運営の基準を定める条例の一部改正（児童福祉施設も入れて複数の条例の一部改正）

障害者福祉サービス事業や支援施設などの基準等が一部改正され、諸記録の作成などで、電磁的記録による対応を認めるようになります。

◎荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業の特定事業契約の締結

荷揚町小学校跡地に、地区公民館、子どもルーム、防災機能強化集積をはじめ、民間施設も含む複合公共施設の整備事業において、九州電力を代表企業とするグループと特定事業契約を締結します。契約金額は約90億5190万円（15年間の維持管理費を含む）であり、工事は2023年度（令5年度）末までで、2024年度4月供用開始予定です。

意見書と請願

次の意見書が採択されました。

◎地方財政の充実・強化を求める意見書（我が会派から提出）

新たな行政需要を考慮し、地方財政を充実強化することを求めるものです。

〈経済環境常任委員会で採択された請願〉

◎2021年度大分県最低賃金の改正等に関する請願（意見書を提出します）

県内の最低賃金の見直しと引き上げるための中小企業等への支援策を求めるものです。

〈我が会派から提出し、不採択になった意見書〉

◎義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書

35人学級の早期実施や国負担を2分の1に復元することを求めるものです。